



新居 勇子

ARAI Yuko

全日本空輸上席執行役員
関西支社長

地域創生の取り組み

— 地域の魅力を高め、交流人口の増加を —



ANAグループは現在、観光振興を基軸とした地域創生に力を入れています。2017年10月に観光アクション部を新設し、グループ各社の観光に関する戦略立案・実行機能、窓口機能を集約しました。国内外の交流人口が拡大し、各地に足を運ぶお客さまが増えますと、地域の活性化につながるとともに、航空機の利用者の増加にもつながります。一人でも多くのお客さまに日本各地へ旅してもらい、交流人口を拡大させるために、さまざまな取り組みを加速させているところです。

取り組みの一つとして、2013年から4年にわたり、「Taste of Japan」と銘打って、47都道府県を1カ月に1県ずつ機内ビデオ等で紹介するとともに、特産品の販売や機内食での食材提供などを行いました。2017年12月からは東北や中四国というように地域単位に拡大して、各地域を半年かけてその魅力を紹介しています。今後、「関西」の配信も予定していますので、PRを行う“場”として活用いただければ嬉しく思います。

観光に関する課題として、専門人材の不足や言葉の壁の問題がよく指摘されています。当グループでは、人材面から地域創生をお手伝いするため、自治体、広域連携DMO、観光協会などあわせて50におよぶ自治体・団体に社員を派遣し、コンサルティング等を行っています。また、店舗や施設のホームページを多言語化するサービスや中国のアリペイなどの支払い手段に対応した決済ツールの提供も行っています。このほか自治体と連携して、例えば市場でのマグロの解体ショー見学や魚をさばく体験、日本酒の利き酒体験など食の体験を盛り込んだ「ODYSSEY JAPAN」という外国人向けのツアーを企画し、欧米豪からの

お客さまを各地にお連れする事業などを手掛けています。

そして当グループならではの取り組みとしてお伝えしたいのが「ONSEN・ガストロミー」です。ガストロミーツーリズムは欧米で普及している旅のスタイルで、その土地を歩きながら現地の食やお酒を楽しみ、歴史や文化を知る旅です。これに温泉をプラスしました。およそ7キロのコースを歩きながら自然を満喫し、1キロごとに地元の食や地酒を楽しんで最後は温泉で癒されるというだけでも気軽に参加できるツアーです。体験した方の多くはリピートされているという調査結果も出ており、国内外問わず多くのお客さまに満足いただけるものと確信しています。

地域創生の取り組みは、一過性ではなく、持続的なものであるべきと考えています。取り組みを継続するためには、ビジネスベースで展開でき、かつ地域とwin-winの関係が成り立つものでなければならないと感じています。また、自治体ごとのニーズにいかにお応えするかが求められます。そのために、社内で各地域の成功例・失敗例やノウハウを共有し、全社をあげてチームで進めることを心掛けています。さまざまな考え方や発想を聞き逃さないよう、私も含め社員一同が心の多様性を磨き、地域の魅力をアピールしていきたいと思っています。

関西ではG20を皮切りに2025年の大阪・関西万博まで国際的なイベントが続きます。この7年間は大阪や関西のネームバリューを高める千載一遇のチャンスです。ANAグループも総力をあげて、あらゆる媒体で協力したいと考えています。またイベントが終わりましても世界中の人たちに行ってみたいと思われる関西になるために、微力ながら全力を尽くしていきたいと考えています。

(談)